



CASIO BUSINESS CONDUCT GUIDELINES

カシオ ビジネス コンダクト ガイドライン

CASIO

目次

パーパス&バリューズ	2
カシオ ビジネス コンダクト ガイドラインの制定趣旨	3
1 高品質の商品・サービスを開発し、社会の役に立ち続けます	4
2 事業活動のあらゆる側面で環境への配慮を徹底します	5
3 公正・誠実・適正な取引活動を徹底します	6
4 事業活動のあらゆる側面で人権を尊重します	7
5 従業員の多様性を尊重し、働きやすい職場環境を構築します	8
6 適正な企業情報開示とステークホルダーとの建設的な対話を行います	9
7 社会貢献活動を通じて、健全で心豊かな社会の実現に貢献します	10
8 自然災害、情報セキュリティ、事業環境変化等のリスクに対し、 漏れのない危機管理を実施します	11
9 経営者および組織の長は「カシオ ビジネス コンダクト ガイドライン」の遵守を 率先垂範するとともに、周知徹底の責任を負います	12
カシオが支持を表明している憲章	13

パーパス & バリューズ

Purpose

私たちは「何のために存在するのか？」パーパスとは、CASIOの存在理由。
私たちは「何を為し」、「どんな世界を目指すのか」を提示しつつ、明文化したものです。

驚きを身近にする力で、
ひとりひとりに今日を超える喜びを。

Through the power to put wonder at hand,
bring new levels of joy to lives one by one.

Values

バリューズとは、パーパスを実現するために必要となる価値観、信条を表現したものです。
CASIO創業の精神を4つの「C」に込め、これからの未来を作る社員ひとりひとりを表す「I」とともに、5つの要素としました。

人の探求こそ、原点

Imagination with empathy.

独自の発想にこだわる

Creativity through unique thinking.

変革を楽しむ

Change with joy.

力を合わせ、実現する

Collaboration for realization.

いかなる時も社会への貢献心を貫く

Contribution to society as our stance.

カシオ ビジネス コンダクト ガイドラインの制定趣旨

趣旨

カシオ ビジネス コンダクトガイドラインは、カシオグループの役員・従業員が「創造 貢献」の経営理念やパーパス・バリューズをビジネス上実践する上で、重要な行動規範を具体的に示したものです。私たちは改めて、コンプライアンスが企業活動を支える土台であることを自覚し、その遵守に努めなければなりません。今般、その道しるべとすべく、このガイドラインを纏めました。カシオグループの役員・従業員は、このガイドラインを誠実に遵守することに努めてください。

ビジネスにおいて判断に迷った時は

このカシオ ビジネス コンダクト ガイドラインに立ち返ってください。このガイドラインに反していないか、各種法令や社内規程に沿っているかなどについて確認してください。

また、わからないこと、困ったことがあった場合は、まずそれぞれの上司に相談してください。また、上司に相談しても解決しない場合、上司に相談できない場合は、内部通報窓口へ相談することをご検討ください。

1 高品質の商品・サービスを開発し、社会の役に立ち続けます

1. 社会に役立つ品質の高い商品・サービスの開発を通じて、社会的課題の解決を図り、持続可能な社会の発展と経済成長に貢献します

- ・私たちは、常にゼロから考え新しい価値を創造する「0⇒1」の開発姿勢に基づき、社会に役立つ商品やサービスを開発・提供します。
- ・お客様に感動され、喜ばれる商品品質・サービス品質をつくり上げ、従業員一人ひとりが品質を全ての業務の基本とする『品質絶対』の意識に基づき強い品質体制をつくり上げます。この事により企業の発展と社会への貢献に寄与するとともにお客様の『信頼と安心』を築き上げます。
- ・お客様からのご要望・ご相談に誠実・迅速に対応し、お客様の大切な声を商品とサービスに活かします。
- ・全ての業務プロセスにおいて、5ゲン（現場・現物・現実・原理・原則）主義に基づいて行動し、業務の基本を守ります。

2. お客様の立場に立った正確でわかりやすい情報を提供します

- ・私たちは、商品機能や使い方などを、お客様の視点で適切に表示しご説明します。
- ・商品に関する表示やご説明に関し、お客様に誤解を与える表現、不適切な表現があった場合には、すみやかに改善します。
- ・万が一、商品に関して事故が発生、または発生するおそれがある場合には、すみやかに原因究明と再発防止のための適切な措置をとるとともに、正確で迅速な情報提供に努めます。

3. お客様の立場に立った的確で良識のある広告宣伝を行います

- ・私たちは、広告宣伝に関しては、法令違反や他者の権利侵害等をしないよう、十分な注意を払います。
- ・常に事実に基づいた公正で適切な表現に努め、お客様の立場に立って商品の特徴をわかりやすく説明し誤解を与えないように努めます。また、他社や他社商品の誹謗・中傷を行わず、社会的差別につながるような表現も行いません。
- ・広告宣伝媒体が公序良俗に反していないか、社会に悪影響を与えるおそれがないか、常に確認します。また、万が一、何らかの問題が生じた場合には、その改善を求めます。
- ・「CASIO」のロゴ等については、「CASIOロゴマニュアル」に従い使用します。また、ブランド名を使用する場合には、その使用について法律や社内規則等を遵守します。



2

事業活動のあらゆる側面で環境への配慮を徹底します

1. 研究開発、設計、資材調達、製造、物流、販売、商品使用、廃棄、リサイクル等の事業活動の全段階において環境保全活動に取り組みます

- ・私たちは、環境への取り組みが地球社会における喫緊の課題であり、企業の存続に必要不可欠であることを強く認識し、「カシオグループ環境理念」、「カシオグループ生物多様性ガイドライン」、「紙の調達方針」、「資材調達方針」に則った活動に努めます。
- ・地球温暖化防止のために、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減に努めます。このため、中長期の温室効果ガス排出削減目標を設定し、お取引先の協力も得ながら、サプライチェーン全体で目標達成に努めます。
- ・事業活動を通じた地球環境、並びに生物多様性への負の影響を理解し、リデュース、リユース、リサイクルによる廃棄物の削減に努め、埋め立て処分量ゼロを目指します。また、事業活動のあらゆる段階でプラスチックの使用を最小限に抑えるなど、材料や水の効率的な活用を通じて自然との共生に努め、資源循環型社会の実現に取り組みます。



2. 環境問題の解決に貢献する革新的な技術、商品・サービスの開発に努めます

- ・私たちは、小型軽量化や長寿命化、リサイクル設計など、開発・設計段階から使用後のリサイクルまで、環境に配慮した製品づくりを行います。また、自然循環可能な材料の開発や有効活用などを通じて、より環境負荷の少ない製品開発を行います。



3 公正・誠実・適正な取引活動を徹底します

1. 公正な競争と取引を行うために、これに関する法律や、安全保障貿易に関する法律等を遵守した事業活動を行います

- ・私たちは、公正かつ自由な競争を阻害する同業他社等とのカルテル行為、不当表示その他公正かつ自由な競争を不当に制限する行為を行いません。
- ・商品、技術等の輸出入取引については、外国為替及び外国貿易法等の国内外の関係法令を遵守するとともに、「カシオ計算機安全保障輸出管理プログラム」等の社内規則に従い、適正な輸出手続きを実施します。

2. お取引先とのパートナーシップに基づき、公正で公平な責任ある調達を行います

- ・私たちは、「資材調達方針」に則りお取引先とのパートナーシップに基づき、国内外を問わず広く門戸を開き、定められた手順による調達業務と、機会均等に接する公正・公平な取引を行います。

3. お取引先との信頼関係の強化を通じた相互発展と、サプライチェーン全体を通して社会的責任を遂行します

- ・私たちは、お取引先との技術開発力の融合と補完、サプライチェーンでの連携、法令・社会規範の遵守と地球環境保全等、多岐に渡る相互理解に基づく信頼関係を強化するとともに、適正な企業行動の徹底を図り、互いの発展を追求します。
- ・事業活動に際し、その国や地域の文化・慣習を尊重し、行動します。
- ・調達活動に際し、法令・社会規範（児童労働・強制労働・差別の禁止、人権の擁護、紛争鉱物の不使用、結社の自由、団結権及び団体交渉権などの世界各国の法律・基準・条約、更に反社会的勢力との一切の関係遮断）を遵守します。そのため、グローバルに事業展開する上で、必要な資材を提供していただくお取引先にも法律・基準・条約や社会規範の遵守をお願いし、サプライチェーン全体での社会的責任を遂行します。



4. 違法および不適切な接待・贈答等を授受しないなど、贈収賄行為を排除します

- ・私たちは、贈収賄防止に関する法令を遵守し、公務員および政府関係者、ならびに他の事業者の役員および従業員に対し、贈賄とみなされる行為を行いません。また、賄賂も受領しません。
- ・お客様やお取引先等の役員および従業員への接待・贈答にあたっては、関連法令および社内規則を遵守するとともに、一般的な商慣習や社会通念上妥当と認められる範囲にとどめます。またその際は、必要な内部承認手続きを事前に行うとともに、適切な報告をします。
- ・特定のお客様・お取引先等を有利に扱い、その見返りとして接待や贈答を受けるような行為は行いません。
- ・寄付を行う場合は、その必要性や妥当性を十分考慮した上で、関連法令および社内規則に従って適切に行います。

5. 反社会的勢力へは毅然たる態度で臨み、関係を持ちません

- ・私たちは、社会的秩序の安定と維持に努め、反社会的な活動や勢力との関係を一切持ちません。
- ・反社会的勢力より不当な要求を受けた場合、組織として毅然とした態度で対処し、利益供与は一切行いません。

4

事業活動のあらゆる側面の人権を尊重します

1. 「世界人権宣言」等の人権に関する国際規範を支持・尊重し、人権侵害に加担しません

・私たちは、「カシオグループ 人権尊重に関する基本方針」を遵守し、すべての人に与えられた基本的権利である人権を尊重する企業としての責任を果たします。

2. カシオグループの業務従事者に対して、差別的行為や一切のハラスメント行為を行いません

・私たちは、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、国籍、民族、宗教、障がいの有無、性転換、性的指向等による差別を行いません。

・いかなる差別的言動、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、その他一切のハラスメント、プライバシーの侵害、誹謗・中傷等、個人の尊厳を傷つける行為を行いません。

3. 児童労働、強制労働、奴隷労働、および人身売買による労働を一切認めません。

また、結社の自由、ならびに労働者の団結権および団体交渉を始めとする労働基本権を尊重します



5

従業員の多様性を尊重し、働きやすい職場環境を構築します

1. 従業員の多様性を受け入れ、それを融合してより良い職場環境を創造します

- ・私たちは、互いの人格、個性、文化的背景、価値観、意見等の多様性を受け入れます。
- ・全ての従業員が力を発揮し、組織全体のパフォーマンスを最大化する人事諸施策を行い、従業員が働きがいを感じ、モチベーション高く働ける風土を醸成します。

2. 公平・公正な評価を行い、チャレンジ精神旺盛で活気のある人材を育成します

- ・私たちは、従業員の貢献度を処遇に適正に反映します。さらに、一人ひとりの能力、適性を的確に把握し、公平・公正な評価を行います。
- ・従業員のチャレンジ意欲と組織のニーズをマッチングさせる活発なローテーションを行いながら、組織の活性化と適正配置を実現させます。※
- ・従業員の自律的なキャリア形成と職務遂行をサポートします。従業員が自らのキャリアプランについて考える機会を設定し、スキル習得の支援を行います。※
- ・会社の定める方針や諸規程を誠実に守り、業務上の指示命令に従い、職場の秩序維持に努めます。自己の職務や役割をよく理解し、責任を持ち、互いに協力して職務を遂行します。

※各国・地域における雇用環境などの違いにより、該当しない場合があります。

3. 健康を保持・増進する取り組みを行い、働きやすい職場を整備します

- ・私たちは、従業員が安心して、生き生きと働き、仕事を通じて最大のパフォーマンスを発揮できることを福利厚生の基本方針とし、様々な面で従業員の健康維持をサポートします。
- ・長時間労働による疲労の蓄積を防止し、労働に起因する健康障がい未然に防ぎながら労働時間の適正化に取り組みます。健康保持に関わる諸施策を取り入れ、不調が生じた際には、治療と仕事の両立支援を行います。
- ・ワーク・ライフ・バランスを尊重し、多様な働き方を柔軟に取り入れる制度づくりに取り組みます。



6

適正な企業情報開示とステークホルダーとの建設的な対話を行います

1. 社会的に有用な企業情報の開示に努め、ステークホルダーへの説明責任を果たすことにより、信頼獲得に努めます

- ・私たちは、経営方針、事業内容、財務情報、サステナビリティ活動等の企業情報を適時、適切に開示し、開示する企業情報が利用者にとって有益な記載となるよう努めます。
- ・お客様、株主・投資家、従業員、地域社会、お取引先等、様々なステークホルダーとの信頼関係の向上のため、コミュニケーションの促進に努めます。
- ・各ステークホルダーからのご意見やご要望を謙虚に受け止め、今後の事業活動に反映させるよう努めます。

2. 適正な企業情報開示のため、会計処理等について、関連法令、社内規則および内部統制手続き等に従って厳正に行い、会計記録などの業務上の記録を正確に行います

- ・私たちは、財務・会計に関する記録および報告を含め、関連法令および社内規則等に基づき、必要とされる記録・報告等を正確かつ明瞭に行い、それらの記録・報告等を適切に保管します。
- ・会計処理等の申請・承認・記録を所定の内部統制手続きに従い厳正に行います。また、内部統制手続きを適切に運用し、有効性を適宜検証し、必要に応じ改善します。
- ・会計士監査、税務調査、監督官庁による調査、監査等委員監査及び内部監査等の監査・調査に誠実に対応、協力します。
- ・社内規程に基づき、与えられた職務権限は誠実に行使するとともに、自らの権限を越えた行使はしません。また適宜、必要な事項を報告します。

3. インサイダー取引防止を徹底します

- ・私たちは、インサイダー取引防止規程を遵守します。会社や取引先等の内部情報を利用した株式売買等のインサイダー取引を未然に防止することを徹底します。

7

社会貢献活動を通じて、健全で心豊かな社会の実現に貢献します

1. よき企業市民として、「次世代教育」「環境保全」「地域社会活動」「福祉・社会包摂」「スポーツ・文化」の5分野への活動を通じて、豊かな社会の実現に取り組みます
2. 特に「次世代教育」「環境保全」「地域社会活動」については、ステークホルダーと連携・協働することで活動を強化し、社会からの期待と要請に応えます
3. 支援や寄付を行う際には、社会性、公共性、有用性等の各側面を考慮し、適切に行います
4. ボランティア活動等の社会貢献活動を尊重します

・私たちは、企業としての社会的責任を果たすべく、ボランティア活動等の社会貢献活動を尊重します。



8

自然災害、情報セキュリティ、事業環境変化等のリスクに対し、漏れのない危機管理を実施します

1. リスクを把握し危機管理を徹底するための体制を整備します

- ・私たちは、リスク管理活動に関する各責任者を選任し、その役割・権限を定めるとともに、企業活動において生じる様々なリスクを把握した上で対策を検討し、未然防止に努めます。
- ・リスク顕在化においては、迅速な情報伝達、被害拡大防止、早期復旧対応などが適切に行えるよう発生時の体制を予め整備します。
- ・企業活動に重要な影響を及ぼすリスクについて、日頃より適切に認識するとともに、分析・評価を行い、重大リスクに対応するためのリスク管理プログラムを策定し、継続的な改善を実施します。



山形カシオ新工場 時計製造フロアの防震システム



2. 個人情報・機密情報や知的財産について、適切に管理する体制を整備します

- ・私たちは、会社の機密情報を漏洩することなく厳重に管理し、社内規則等の手続によることなく開示せず、また、在職中のみならず退職後も、不正・不当な利用をしません。また公共の場所での会話、通話、通信やソーシャルメディアで不用意に話題にしたり、第三者の目に触れないよう注意します。
- ・お客様、株主・投資家、役員、従業員、ならびにお取引先の役員、従業員等の個人情報を、その収集、利用、提供、保管、廃棄において、関連法令および社内規則等を遵守し、漏洩することのないよう、細心の注意をもって取り扱います。
- ・特に、何らかの機密情報を入手する場合、正当な権利者から正当な方法により入手します。
- ・事業結果を、会社の知的財産として適切な管理に努めます。また、他者の権利を侵害しないよう十分に注意します。
- ・サイバーセキュリティは重要なリスク要因であり、適切な管理体制の構築や対策に取り組みます。

9

経営者および組織の長は「カシオ ビジネス コンダクト ガイドライン」の遵守を率先垂範するとともに、周知徹底の責任を負います

1. 「カシオ ビジネス コンダクト ガイドライン」についてグループ従業員への周知徹底を図るとともに、お取引先に対しても理解と賛同を得ることに努め、それに基づく行動を促します
2. 万が一、お客様の信用を失うような事態や企業価値を棄損するような事態が生じた場合は、経営トップが率先して原因究明と問題の解決、再発防止等に取り組みます
3. 内部通報窓口を整備し、カシオグループの従業員へ活用を促すことで、企業統治の強化に努めます

カシオが支持を表明している憲章

国連グローバル・コンパクト

『国連グローバル・コンパクトは、企業が影響の及ぶ範囲内で「人権」、「労働」、「環境」、「腐敗防止」の分野における一連の本質的な価値観を容認し、支持し、実行に移すことを求めています。』

カシオは、この原則への支持を表明し、2010年12月に加盟しました。

国連グローバル・コンパクトの10原則

＜人権＞ 企業は、

- 原則1. 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
- 原則2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

＜労働基準＞ 企業は、

- 原則3. 結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
- 原則4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 原則5. 児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 原則6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

＜環境＞ 企業は、

- 原則7. 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 原則8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 原則9. 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

＜腐敗防止＞ 企業は、

- 原則10. 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである



CASIO